

世界の住まいから夏夏のくらしを学ぼう

—国際理解ゲームとクールドーム作り—

地球環境の急激な変動を抑えるため、今後、国内外において温室効果ガスの排出削減がさらに求められるようになりました(2015年12月、パリ協定)。これに対して、住まいを上手に使い「住みこなす」ことは、エネルギー消費量を少なくすることにつながり、地球環境を守ることになります。では、「住みこなす」ためにはどのようにすればよいのでしょうか。



この講座は真夏に行われますので、冷房装置に頼らず、「住みこなす」ことで暑さをしのぐ方法を考えてみます。暑さの元は、日射しや湿気など数々ありますので、これらを思い通りに調整するのは一筋縄ではありません。そこで、「せかい・すまい・きこう」というゲーム教材や涼しさづくりの実験をとおして、日本よりももっと暑い地域に住むひとびとから、気候風土の特徴を生かして住まう知恵を学びます。

■日時：2016年 7月 23日(土) 13:00~16:00

■会場：せんだい環境学習館 たまきさんサロン

(仙台市営地下鉄東西線「青葉山」駅、南1出口より徒歩3分)

※周辺に一般駐車場はございません。来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 東北大学大学院環境科学研究科棟 1F

TEL: 022-214-1233

ホームページ: <http://www.tamaki3.jp>

■内容・講師：

(1) 世界の住まいと夏のくらし

講師：鈴木信恵(建築環境コンサルタント)

(2) 涼しい空間(クールドーム)を作ってみよう

講師：菅原正則(宮城教育大学)

■定員：30名

■対象：小中学生とその保護者、および教育関係者

■参加費：無料



参加ご希望の方は、事前にメールまたはファクスにて、お名前と学年(またはご職業)を
そえて、下記までお申し込み下さい。

■申込先・問い合わせ：

宮城教育大学 家庭科教育講座 菅原正則

Tel/Fax: 022-214-3483

e-mail: msugawa@staff.miyakyo-u.ac.jp

■詳細：日本建築学会東北支部 HP (<http://news-sv.aij.or.jp/tohoku/>)

■後援(すべて予定)：日本建築学会 環境ライフスタイル普及小委員会、
空気調和・衛生工学会東北支部、建築設備技術者協会東北支部、
電気設備学会東北支部、日本技術士会 東北本部 衛生工学・環境・上下水道部会、
住まいと環境 東北フォーラム、宮城教育大学 環境教育実践研究センター